



ロータス東海の ちいらしっこ通信



2022年6月号

今月のちいらしっこ話

【5人で傘2本】

「あの人達、どうかしたのかな」信号待ちの車の中で、父が指差した。大柄な男性が膝を押さえてうずくまり、小柄な年配の女性が周りを見渡し、オロオロしているように見えた。雨が降っているのに、二人共傘を差していない。少し離れた場所に車を止め、様子を見に行った母が息を切らして戻ってきた。「息子さんが転んで立ってみたい。うちの車椅子があれば助けられる。一度、家に戻ろう。」急いで車椅子を持って戻ってみると、別の女性が、二人に声を掛けていて、母とその女性が親子を近くの病院に連れて行くことになった。男性が車椅子に乗り、私の母がそれを押す。二人が濡れないようにと、女性が自分の傘をその二人に差した。男性のお母さんが濡れないようにと、通りがかったお婆さんが後ろから自分の傘を差しかける。なんとも不思議な光景だったが、親切の連鎖が生んだ姿に温かさを感じた。グループホームに入所していた息

子さんを連れて帰ろうとしていて、転んでしまったという事だったが、息子さんの怪我はたいた事が無かったようで、ほんと心が軽くなった。私は筋肉の難病で、平坦な道でもすぐ転んでしまう。私が転んで困っているとき、何度も助けてもらった事がある。声を掛けてもらえるだけで、痛さも和らぐ気がする。私は日常的に色々な場面で多くの人の力を借りている。今日は私の車椅子が役立つ。今日は私の車椅子の力で、人の役に立てるような事ができたらと思った。気がつくと、外の雨はいつの間にか上がって、明るい光が射していた。



人と地球と車にやさしい思いやり(SDGs) 世界は想像以上につながっている！

国連が定めた世界共通の目標であるSDGsは「誰一人取り残さない」世界の実現を目指しています。簡単にいえば、世界中のすべての人が水道や電気が使えて、学校に行き、食事に困らないようにならなければいけないのです。日本を含むG7（主要先進7カ国）のような国では、その多くが満たされていますが、自分さえ満たされていれば、他人がどうであれ関係ないと考えていいのでしょうか。たとえば、日本は世界中にさまざまなものを輸出していますが、貧困に苦しむ国の人が食事に困らなくなり、やりがいのある仕事に就いて収入が上げれば、日本の自動車を買ってくれるようになるかもしれません。遠くの国の人が海にごみを捨てれば、日本に流れ着いて海洋汚染の原因になるかもしれません。想像力を働かせていくと、世界中の人々はつながっていることが見えてくるはずです。だからこそ世界中の人

が力を合わせる必要がありますし、誰一人としてSDGsに無関係な人はいないのです。ここでいう、G7（主要先進7カ国）とはフランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダの7つの先進国のことです。かつてはロシアを含めたG8でしたが、2014年にウクライナが統治するクリミア半島の主権と領土をロシアが侵害した問題を受け、ロシアの参加が停止されています。



ロータスクラブはCO2削減
に取り組んでいます



ちかちゃんの

世界の有名レース

サファリラリー

サファリとはスワヒリ語で長い旅という意味です。そんな言葉を大会名称としたサファリラリーは文字どおり、壮大な旅のようなラリーでした。

初開催は1953年、東アフリカのイギリス植民地においてエリザベス2世の即位を記念して初開催された、歴史の長いラリーです。アマチュアイベントから国際的なラリーへ発展し、モンテカルロラリー、RACラリーと共に世界三大ラリーと称されてきました。

20年以上にわたり、毎年1回、ケニア、ウガンダ、タンザニアの3カ国をまたぐルートで行われ、1975年大会以降はケニアのみでの開催となりましたが、それでも毎年約5000kmものルートが設けられ、出場者たちは5日間にあたり昼夜を問わず全力で走ることが求められる一戦でした。

ヨーロッパ内で行われているラリーと比べると、さまざまな面で異なる特徴がありました。コースの途中には砂漠地帯が広がり、豪雨に見舞われると一転して泥の中を進み、野生動物の生息地でもあるため、アニマルガードが必須のパーツでした。



まりちゃんの

大人の趣味時間

もともと自然の中にある巨石に登る遊びとしてスタートしたボルダリングですが、1980年代後半から、人工の壁に登るクライミングジムが日本各地に少しずつでき始め、インドアでもボルダリングを楽しむことができるようになりました。そして2021年の東京オリンピックでは、スポーツクライミングの中の一種目としてボルダリングがおこなわれることになりました。

ボルダリングでは、ロープを使わず、落ちても致命的なケガにならない通常3~5m程度の高さの壁を登ります。年齢、性別や体力の強弱を問わず、幅広い層の方が楽しめるスポーツです。両手両足でハンゴを登れるくらい力があれば誰でも楽しむことができます。年齢も、未就学児から80歳代の方まで幅広い年齢の方が楽しんでいきます。(ジムによつて年齢制限が異なります。)ほとんどのボルダリングジムでは、初心者向けから上級者向けまでたくさんの課題が用意されています。インドア・ボルダリングジムで気軽に始めることができ、必要な持ち物は、Tシャツやジャージ、ヨガパンツなどの動きやすい着替えと靴下だけ。専用のクライミングシューズや滑り止め用のチョークなどはボルダリングジムでレンタルすることができ、事前の予約も不要。ほとんどのボルダリングジムでは、初回訪問時に登り方や注意点を教えてくれます。まずは、お近くのジムを探してみませんか？



かこちゃんの

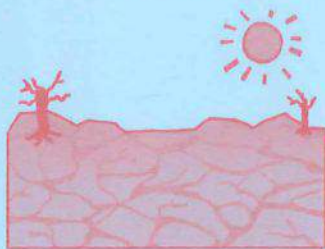
鎌倉時代の生活文化

災害と世情の変化

災害大国日本。ときに容赦なく人々を襲う自然の猛威は、現代人の我々にとつても他人事ではありません。地震、台風、洪水、干ばつ、大雨、噴火など、日本は昔から災害が多発していました。お米が登場してからは、蓄えることもできたことから、権力の象徴となりましたが、畑や田んぼを手に入れても、天候に食を左右されることになりました。

日本の日記や古文書などには、天気を記録している書物がたくさん残されました。鎌倉時代に書かれた「吾妻鏡」という歴史書にも、災害の数々が記録されています。源頼朝が、平清盛を倒して鎌倉に幕府を開いた頃が、気候の温暖な時期のピークになり、その後、寒冷化していきました。

1181年には雨が全く降らずに、京都や西日本全域で干ばつによる「養和の飢饉」(ようわのききん)が発生。気候の変化によつて、大雨、台風、洪水、そして鎌倉時代は、地震がとて多くなつていきました。「衣食足りて礼節を知る」と言う言葉がありますが、人間心とお腹が不安になると、世情も乱れていくのが世の常です。



We are Professional. ロータスクラブ加盟店

(株) 東海自動車

〒036-8061 青森県弘前市神田1-5-4

TEL: 0172-33-7700

FAX: 0172-32-7171

発行人: 福士 幹規

日曜・祝日も元気に営業中です!!

「め〜コーヒーまだ飲みにきてね〜人はえぐ来いへ〜」

特典いっぱい「友の会」会員募集中です。

マイカーリースも好評受付中!!

営業時間 8:30~17:30

定休日:第1・3・5の日曜日はお休み